



おおまつ 重 和 大松しげかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

9月県議会一般質問に登壇

震災からの復旧・復興を訴え!

海岸施設の整備を要望

旭市特集

また、9月県議会では、被災地を代表して一般質問に登壇し、大震災から必死で立ち上がるとうとする地元・旭市民の要望を、森田知事ら県執行部へ直接伝えました。復旧・復興対策特別委の活動と合わせ、大松県議の主な質疑を特集しました。

日本人にとっては忘れることのできない、あの東日本大震災。県内では最も大きな被災地となった旭市では、まだ復旧・復興へ道半ばです。大震災後の県議選で再選を果たした大松重和(おおまつ・しげかず)県議は、県議会内に設置された復旧・復興対策特別委員会の委員に就任し、各地の被災地を視察するなど、復興に向けて精力的に活動しています。



県議会の壇上から震災復興を訴える大松重和県議

海岸施設の復旧状況

大松議員 東日本大震災の津波により、私の地元旭市では甚大な被害を受けました。今回の大津波により、人的被害、家屋被害はもとより、消波ブロックの散乱など、海岸施設も大きな被害を受けました。現状のままでは侵食や高潮への対応が十分にできないのではないかと懸念もあるほか、飯岡と矢指ヶ浦の海水浴場では、今年の開設を断念せざるを得ませんでした。地元の見光業者にとっては、大きな痛手であり、速やかな復旧が望まれるところ。

そこで伺います。震災後の九十九里海岸施設の復旧状況はどうか。また、今後の海岸施設整備にどのような取り組みをいくのか。

森田知事 九十九里海岸施設の復旧については、早急に進める必要があると考えています。現在、被災した10地区について、国による災害査定を終え、11月までに全地区で工事に着手し、来年は全ての海水浴場で海開きを迎えられるよう努めてまいります。

また、新たな津波対策については、県において学識者による委員会を7月に設置し、護岸等の設計に必要な津波規模などについて今年度末を目途に検討を進めているところです。今後これらの検討結果や地元の意見を踏まえ、海岸の利用形態や環境にも配慮した海岸施設の整備を進めてまいります。

新たな津波対策

大松議員 九十九里海岸の津波対策に対し、県はどのように取り組んでいくのか。

森田知事 今回の津波は、東北地域を襲った津波はもちろんです。県内の九十九里地域、特に旭市においても防潮堤を越えて浸水し、大きな被害をもたらしており、一定の減水効果はあったものの、ハード対策だけで被害を防ぐことが不十分であることを改めて認識したところです。

このことから、今後、海岸保全施設などハード面の整備を検討するとともに、ソフト対策として新たな津波浸水予測図を作成し、市町村の津波ハザードマップの作成支援などにより、ハードとソフトを組み合わせた総合的な津波対策を進めてまいります。

海岸保安林の整備

大松議員 海岸保安林の整備を今後、どのように進めていくのか。

農林水産部長 今回の津波では、海岸保安林が減災効果を発揮した地域がある一方で、砂丘が低い地域や海岸へのアクセス道路が砂丘で分断されている箇所では、津波が侵入し松が倒された事例も認められています。

このため、被災した砂丘の復旧を急ぐとともに、今後は、砂丘の新設やかさ上げなどの強化、樹木が地中深く根を張り、津波への抵抗力を強めるような森作り



津波で流された車やがれき(旭市飯岡地区で)

がんばろう! 旭市

県政や地元・旭市のことはお気軽にご相談ください。〒289-2505 旭市鎌数174-2
大松しげかず 県議事務所 TEL0479(62)7571 FAX0479(63)9300

旭市特集

好きですあひる

9月県議会一般質問

大松しげかず県議

復興に向け財政支援を要請

市町村振興資金の貸付10億円

市町村の資金需要

大松議員 今回の9月補正予算においては、東日本大震災に係る復旧・復興事業について、市町村の資金需要に柔軟に対応するため、市町村振興資金の中に新たに災害復興事業貸付分として10億円の貸付枠が設けられました。わが党の服部議員の代表質問の中でも取り上げられましたが、その時の答弁では具体的な進め方についての言及はありませんでした。

そこで伺います。第1点として、市町村振興資金の災害復旧事業貸付分について、どのように市町村に周知し、どのように進めていくのか。

補正予算で7億3百万

大松議員 今回の9月補正予算では、市町村の復興支援、災害の予防のため7億3百万円が計上されていますが、旭市に限らず、被災した自治体の財政運営は大変厳しい面もあることから、財政状況に応じて、きめ細かく支援していくことが重要です。



議場の自席から再質問する大松県議

そこで伺います。被災市町村の財政運営について、県としても各団体の財政状況をよく聞きながら、支援を行っていくべきと思うがどうか。

総務部長 被災の規模、態様や財政状況は、市町村によってさまざまであることから、県としては、できるだけ現地に赴き、状況や要望をお聞きしてまいります。

今後とも、各団体の財政状況をよく聞きながら、適切な情報提供や助言を行い、被災市町村が財政運営に支障を生じることのないよう、支援してまいります。

特に今回の補正予算において、新たに設けた市町村振興資金の災害復興事業貸付分の運用に当たりましては、市町村の財政状況に応じて、きめ細かく対応してまいります。

災害廃棄物で要望

大松議員 旭市では、今回の大震災による家屋の損壊などにより約10万トンの災害廃棄物が発生しました。実に通常の年間処理量の4倍にあたる膨大な量で、市単独では処理しきれず、民間処分場や県内の他の市町村にも応援をお願いしているところなんです。この処理費用については、25億円程度と見込まれていますが、基本的には国が全額負担することとされています。

大松県議、復興対策特別委で視察

大松県議は、県議会内に設置された「東日本大震災復旧・復興対策特別委員会」の委員に任命され、県内の被災地を視察するなど、復興に向けて精力的に活動してきました。

このうち、6月2日に行われた香取市、匝瑳市、山武市と並んで、地元旭市のいいおかふれあいスポーツ公園、飯岡漁港、飯岡地区、椎名内地区の視察・調査に加わり、改めて県の担当者から状況説明を受けました。



旭市は人間処分場や県内の他の市町村にも応援をお願いしているところなんです。この処理費用については、25億円程度と見込まれていますが、基本的には国が全額負担することとされています。

旭市は人間処分場や県内の他の市町村にも応援をお願いしているところなんです。この処理費用については、25億円程度と見込まれていますが、基本的には国が全額負担することとされています。

旭市は人間処分場や県内の他の市町村にも応援をお願いしているところなんです。この処理費用については、25億円程度と見込まれていますが、基本的には国が全額負担することとされています。

大松しげかず県議 PROFILE

- 略 歴 ■
- 昭和33年 旭市鎌数生まれ (9月23日) 市立旭二中、県立銚子商業高校卒
 - 昭和53年 養豚業/旭市農協青年部委員長/旭市立共和小PTA会長/県養豚協会理事/旭青年会議所会員
 - 平成19年 千葉県議会議員初当選
 - 平成23年 千葉県議会議員再選
- 現 職 ■
- 自民党県連 政務調査会委員
 - 県 議 会 農林水産常任委員会委員
 - 千 葉 県 卸売市場審議会委員
 - 旭オータリークラブ会員/海匠農業共済組合理事
- 自己紹介 ■
- 生活信条 初志貫徹
 - 趣 味 ジョギング、読書 (歴史)
 - 家 族 父母、妻と一男二女の7人家族